

日本服飾文化史

梅谷 知世

2年 前期又は後期 必修 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

アジアの東端に位置する日本は、古くから中国をはじめとする諸外国の影響をうけながら、独自の美意識に基づく豊かな服飾文化を作りだし成熟させてきました。この授業では、服飾・染織品の実物資料、文献資料、図像資料などを用いて原始・古代から近代にいたる日本服飾の移り変わりを概説します。さらに、各時代の服飾の特質を政治や社会との関係、造形性、美意識、同時代の演劇・美術・文芸との関連性、外国文化の影響などさまざまな視点から捉え、服飾の多様なあり方について考えます。

■到達目標（学修成果）

- 1、原始・古代から近代までの日本服飾の移り変わりを理解し、説明することができる。
- 2、各時代の服飾の特質について、同時代の資料に基づいて理解し説明することができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業要件科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	日本服飾文化史の視点	復習：シラバスを読み授業概要を理解する。	30分
2回	縄文・弥生時代の服飾	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
3回	古墳時代の服飾	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
4回	飛鳥時代の服飾：服制のはじまりと唐風摂取	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
5回	奈良時代の服飾：衣服令と唐風服飾	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
6回	正倉院の服飾・染織	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
7回	平安時代の服飾（1）：和様の開花	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
8回	平安時代の服飾（2）：重ね色目	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
9回	鎌倉・室町時代の服飾：武家服飾の成立と発展	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
10回	小袖服飾の成立	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
11回	安土桃山時代の服飾：武家服飾の変容と南蛮服飾	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
12回	江戸時代の服飾（1）：武家服制の確立と町人服飾の充実	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
13回	江戸時代の服飾（2）：小袖の開花	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
14回	近代の服飾：西洋服飾の導入と和装の近代化	復習：授業内容を振り返り課題に取り組む。	30分
15回	まとめ	復習：これまでの授業内容を振り返り、十分理解する。	60分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の課題（授業内容の復習）について、次回授業時にフィードバックを行います。質問は随時受け付けます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	30%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

■参考文献

増田美子編『図説日本服飾史事典』（東京堂出版） 増田美子監修『ビジュアル日本の服装の歴史①②③』（ゆまに書房）
その他の参考文献は授業中に紹介します。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業でお知らせします。 研究室：研究棟4階6042A

■備考 博物館や美術館に積極的に足を運び、服飾・染織の実物遺品や絵画作品など図像資料を見学する機会を持つよう心がけて下さい。

博物館経営論

丸山 憲子

2年 前期 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

博物館の経営について学習する。多様化する博物館の経営体制について認識を深め、今日の博物館経営をめぐる諸相を把握し、今、博物館に何が求められているのか、また博物館本来の存在意義について学習する。

■到達目標（学修成果）

- ・博物館の適切な機能や経営体制の把握
- ・ミュージアムマネジメントについての基礎的事項の理解
- ・現代博物館を多角的な視点で考察できることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法）のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき博物館に関する科目の単位の一つ。卒業要件科目ではありません。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション（博物館経営論の概要の説明・授業計画）	予習：シラバス（学芸員課程部分）を読んでおくこと。	30分
2回	ミュージアムマネジメントの意義について学習する。	予習：教科書の博物館経営論部分を読んでおくこと。 復習：ミュージアムマネジメントについてまとめておくこと。	60分
3回	博物館法について学習する。	復習：博物館法の復習	30分
4回	独立行政法人立等、設立母体について学習する。	復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。	30分
5回	指定管理者等、設立母体について学習する。 設立母体についてのまとめ	復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。	30分
6回	博物館評価について学習する。	復習：配布資料の読み返し。教科書読み返し。	30分
7回	博物館の館内組織・館外組織について学習する。	復習：配布資料の読み返し。教科書読み返し。	30分
8回	博物館の施設・設備について学習する。	予習：インターネット上で博物館建築をリサーチしておくこと。 復習：配布資料の読み返し。	60分
9回	博物館におけるマーケティングについて学習する。	復習：配布資料の読み返し、マーケティングについてまとめておくこと。	30分
10回	ミュージアムショップやレストラン等アメニティという側面から学習する。	予習：インターネット上でミュージアムショップ、レストランをリサーチしておくこと。 復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	60分
11回	今日の社会状況を踏まえた博物館の課題について学習する。	復習：配布資料の読み返し、博物館をめぐる課題をまとめておくこと。	30分
12回	まとめ及びプレゼンテーションのための説明。	復習：配布資料の読み返し、全体の振り返り	90分
13回	実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション	予習：プレゼンテーション準備 復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	90分
14回	実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション	予習：プレゼンテーション準備 復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り・プレゼンテーション準備	90分
15回	総まとめ	復習：振り返り	60分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テスト・試験・プレゼンテーションの後の解説

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 芙蓉書房出版

■参考文献

随時 紹介する

課題内容に即した資料プリントを配布します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課（本校舎1階）

出講日：土曜日

■備考 積極的に博物館見学をし、manaba等を利用しての見学記の発表をしてもらいます。

博物館資料論

丸山 憲子

2年 前期 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

博物館において資料は必要不可欠な存在である。どんな博物館でも「資料」を有し、コレクションをなしている。今日の博物館のコレクションは多種多様であり、一口で「博物館」と言ってもその範囲は極めて大きい。本講では現代博物館が扱う資料（コレクション）について、博物館の歴史とともに体系的に学習する。また、資料収集・整理保管・調査研究・教育普及という4つの博物館機能（活動）を通して、いわゆる実物（1次資料）から2次資料が発生していくことを理解し、それぞれの機能（活動）における1次資料・2次資料の特性・役割を学習する。

■到達目標（学修成果）

博物館資料の様々な特性を理解し、博物館活動にとって必要なもの・ことを認識できるようにする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき博物館に関する科目の単位の一つ。卒業要件科目ではありません。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション（博物館資料論の概要の説明・授業計画）	予習：シラバス（学芸員課程部分）を読んでおくこと。	30分
2回	博物館の成立背景に見られる資料についての事例を挙げ、博物館＝資料の存在を認識する。	予習：教科書の博物館資料論の部分を読んでおくこと。	30分
3回	1次資料と2次資料の博物館活動における役割、及び資料の価値について学習する。	復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。	30分
4回	1次製作資料として分類される実物製作資料と情報製作資料について学習する。	復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。	30分
5回	1次標本資料（1）について学習する。	復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。」	30分
6回	1次標本資料（2）について学習する。	復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。	30分
7回	1次資料についてのまとめ 2次資料（1）について学習する。	復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。	30分
8回	2次資料（2）について学習する。	復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。	30分
9回	2次複合製作資料について学習する。 2次資料についてのまとめ	予習：1次資料・2次資料の違い、種類を再確認しておくこと。 復習：語句の整理をしておくこと。	60分
10回	博物館機能を再確認する。 資料の収集について学習する。	復習：教科書の読み返し、語句の整理をしておくこと。	30分
11回	資料の整理保管について学習する。	復習：教科書の読み返し、語句の整理をしておくこと。	30分
12回	資料の調査研究活動について学習する。	復習：教科書の読み返し、語句の整理をしておくこと。	30分
13回	教育普及という観点から、資料のもつ意味とその効果について学習する。	復習：配布資料の読み返し、教育普及活動のまとめをしておくこと。」	30分
14回	資料の取り扱い、及び運搬という観点から学習する。	復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。	90分
15回	総まとめ	復習：振り返り	60分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テスト・試験の後の解説

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 芙蓉書房出版

■参考文献

随時 紹介する

課題内容に即した資料プリントを配布します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課（本校舎1階）

出講日：土曜日

■備考 積極的に博物館見学をし、manaba等を利用しての見学記の発表をしてもらいます。

博物館資料保存論

榊 規彰

2年 後期 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

博物館資料論を基礎として、博物館資料の保存の意義、目的、資料保存の前提としての劣化要因とその対策、資料の材質に応じた劣化対策、保存技術等について、論理的に授業を進めます。

■到達目標（学修成果）

学芸員が日常的に取り扱う博物館資料について、収集、保管、調査研究、展示他の活用といった博物館機能の各局面において、資料保存の理論と実践法を習得し、時代に適応できる博物館学芸員としての資質を得られるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、学芸員資格取得のための必修科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	博物館資料保存の意義、目的	予習 シラバスを事前に目を通す	30分
2回	博物館資料の種類と特性	復習 博物館資料の種類と種類ごとの特性について確認する。	30分
3回	文化財保護と博物館資料1	復習 文化財と博物館資料の関係について確認する。	30分
4回	文化財保護と博物館資料2	復習 博物館資料と文化財保護の関係について確認する。	30分
5回	博物館史にみる資料保存の方法	復習 博物館史上の伝統的保管方法について確認する。	30分
6回	博物館資料の材質による劣化と対策1 瞬間的・破壊的な劣化(人災、天災)	復習 人災や天災による瞬間的・破壊的な劣化と対策について確認する。	30分
7回	博物館資料の材質による劣化と対策2 緩慢、確実に進行する劣化①(温湿度、大気等)	復習 温湿度の変化、大気中の粉塵等の影響・対策について確認する。	30分
8回	博物館資料の材質による劣化と対策3 緩慢、確実に進行する劣化②(汚染物質、薬品類、光等)	復習 大気中の汚染物質及び薬品類、光等の影響・対策について確認する。	30分
9回	博物館資料の材質による劣化と対策4 緩慢、確実に進行する劣化③(虫害、黴菌類等)	復習 虫害及び黴菌類等の影響・対策について確認する。	30分
10回	博物館資料の修理と修復	復習 博物館資料の修理・修復の必要性とその方法について確認する。	30分
11回	博物館資料の保存環境(収蔵施設・展示施設等)	復習 博物館資料の保管・展示に適した施設の条件について確認する。	30分
12回	博物館資料保存のための科学技術1	復習 博物館資料の保存科学技術について確認する。	30分
13回	博物館資料保存のための科学技術2	復習 博物館資料の保存科学技術について確認する。	30分
14回	博物館資料の取扱い1(資料取扱い上の留意点等)	復習 博物館活動の様々な局面における資料取扱い上の留意点を再確認する。	45分
15回	博物館資料の取扱い2(展示ほかの活用等)	復習 展示他の活用の局面での資料保存を前提とする取扱い法を確認する。	45分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業時間中に小試験を実施し、出題の意図及び模範回答等について解説し、理解・習得の促進をサポートします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%	授業への取組みは、出欠状況を中心に受講態度、取組状況等評価します。授業内試験を実施し、講義内容の理解度を測定し、成績判定に活用します。
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%	
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%	
外部評価・検定試験結果	0%	

■教科書

なし

■参考文献

本田光子・森田 稔 『博物館資料保存論』、青木 豊 編 『人文系博物館資料保存論』

■オフィスアワー・研究室

土曜日（講義時間 14:55～16:05）第3校舎講師控え室（第3校舎1階）

■備考

なし